

# 札幌学院大学

商学部	人文学部	法学部	理学部
経済学科	人間科学科	法律学科	数学科
	英語・英米文学科		

Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1988. 11. 30 No. 41

学校法人 明和学園  
編集・発行 札幌学院大学 庶務課  
〒069 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011)386-8111



熱心な討論の続いたシンポジウム

## 人文学部開設10周年

### 記念行事盛大に シンポジウム、経験交流会、学術講演会

人文学部開設10周年を記念して、十月十三、十四、十五日の三日間にわたり、人間科学シンポジウム、教育実践経験交流会、学術講演会の諸行事が、左記の要領で実施された。

「打ち合わせ」(歓迎会) 文芸学部学生百名強  
(初代学部長) 中野徹三  
学芸学部教授、助産師 東 山久久夫  
山久久夫教育大学教授 於 本学  
山久久夫教育大学教授 於 本学  
山久久夫教育大学教授 於 本学

「打ち合わせ」(歓迎会) 文芸学部学生百名強  
(初代学部長) 中野徹三  
学芸学部教授、助産師 東 山久久夫  
山久久夫教育大学教授 於 本学  
山久久夫教育大学教授 於 本学  
山久久夫教育大学教授 於 本学

#### 全国で初の試み 人間科学部 科間の相互討議

シンポジウムと経験交流会は人間科学部等のある大学間、問題扱う事で内容的にシンポジウムと関連している。話し合う目的で企画され、恒例の第十二回学術講演会も記念行事の一環として位置づけ、二番目の文芸大学より、



#### 人文学部開設十周年 記念行事を終えて

人文学部長 杉本正

状態なのは、人文学部開設十周年記念の行事が、学園内外の協力のもと、成功裡に終ったことでしょうか。その成果についての詳細は他に譲るとして、忘れ

と想定し、行事企画委員二名が選ばれました。しかし、その後、諸企画(シンポジウム、学術講演「教学上の歩み」等)の具体的内容が容易には定まら

最後に、ご多忙の中参加くださいました沢田水島徳永、東山の諸先生にお礼申し上げますと共に、この試みは今後も継続されんことを切望いたします。

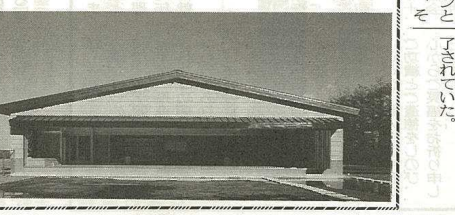
#### 情報化社会と心の健康

学術講演会(講演を音楽の夕べ)は、六百三十名収容のホールが満員になる程の盛況ぶり、東山久久夫先生は、現代の情報化社会において心の健康が醸成される原因と健全な心を回復する方法を巧みにユーモアを交えながら具体的に話され、会場は終始笑い声に包まれていた。なお、音楽は、ヴァイオリン、大提琴、ピアノ、藤井、興氏で、



東山久先生

### 和弓場、洋弓場完成 体育関係施設さらに充実



射場外観

昭和六十三年六月二十四日に着工した総合グラウンド野球場本部、洋弓場・野球場本部、バスケコート、スコアボード・ランニングロード舗装は、四月の工期を経て十月十九日に完了した。和弓場は射場(〇・八五)の場・審判室を含め、施設面積は七三平米。洋弓場は、二〇・七〇が六、三〇・九〇が五の合計

射場内部

射場外観

一、的施設面積は約三〇〇平米。野球場関係は、バスケコート、スコアボードとバスケネット裏にスコアボードの操作可能な本部席(鉄筋コンクリート造)一階建面積二八平米となつて、ランニングロードは一周、二〇一八メートル、歩行用の舗装をして使われようとしている。今回の整備工事に完了し、洋弓場も全道はもとより、全国の大学に比べても誇りうる有数の施設となつた。念願であつた、野球場関係施設、ランニングロードと合わせ、学生諸君が大いに利用し、好成績を上げることを期待する。

ベートベン、ショパン、モーツァルトのヴァイオリンとピアノの名曲が演奏され、その見事な演奏ぶりに聴衆は魅了されていた。

# 講演と音楽の夕べ(集い)

## 学園創立40周年 大学開学20周年の記念事業



足羽進三郎先生



石河英夫先生

### 札幌学院大学名誉教授

### 石河英夫 両先生に 称号が授与される

七月一日付けで制定された札幌学院大学名誉教授称号授与規程により、学長として功績のあった石河英夫元学長、足羽進三郎前学長のお二人に名誉教授の称号が授与されることと決定していたが、九月十八日、学長室に石河、足羽先生ご夫妻をお招きして授与式が行われた。授与式には、荘理事長、三学部長も出席されたほか、在学学生長より「札幌学院大学名誉教授の称号を授与する」と称号記の第一号が石河元学長に、続いて第二号が足羽前学長に授与された。



盛況だった函館市民講座(9月13日)

この「講演と音楽の夕べ」は、本学園が地域に根ざし、地域に開かれた大学としての使命を一層自覚し、その学術研究成果を地域に還元するという趣旨で、これにクラシックの名曲演奏を加えて行ったものだが、昭和六十二年十月の市内開催からスタートし、同年内小樽市、六十二年は帯広市、釧路市・旭川市と回り、十月十九日は札幌市の教育文化会館で、六十三年度師に迎えて開催、六十三年度は北見市・室蘭市・函館市で行い道内主要都市を網羅して実施されてきた。

本学園では、学園創立四十周年・大学開学二十周年の記念事業として「講演と音楽の夕べ(集い)」を札幌ほか道内八市で開催することとし、昭和六十一年度から三十九年にわたり実施してきたが、本年九月十二日の室蘭市及び同月十三日函館市における開催をもって、当初の企画通りの全事業を終了した。

## 各地で広がる親しみの輪 地域に根ざし、地域に還元

九月二十日、第五回目を迎えた今年度の文化講演会は、ソ連科学アカデミー極東支部国際関係部長のニコライ・G・ニェハイェンコ氏を招いて開かれた。



ニコライ・G・ニェハイェンコ氏

### いま、ペレストロイカで何が起っているのか?

#### 第五回 文化講演会

九月二十日、第五回目を迎えた今年度の文化講演会は、ソ連科学アカデミー極東支部国際関係部長のニコライ・G・ニェハイェンコ氏を招いて開かれた。

「生きている知恵」をテーマにした講演会。ソ連科学アカデミー極東支部国際関係部長のニコライ・G・ニェハイェンコ氏を招いて開かれた。

この「講演と音楽の夕べ」は、本学園が地域に根ざし、地域に開かれた大学としての使命を一層自覚し、その学術研究成果を地域に還元するという趣旨で、これにクラシックの名曲演奏を加えて行ったものだが、昭和六十二年十月の市内開催からスタートし、同年内小樽市、六十二年は帯広市、釧路市・旭川市と回り、十月十九日は札幌市の教育文化会館で、六十三年度師に迎えて開催、六十三年度は北見市・室蘭市・函館市で行い道内主要都市を網羅して実施されてきた。

- 教授 石井持氏 稚内61・10・11 小樽61・10・18
- 教授 方賀良雅氏 帯広62・6・12 旭川62・19 函館63・9・13
- 「これからの福祉と町内生活」 教授 山田泰作氏 釧路62・6・13



### 子供の成績状況、本学の教育方針に関心集まる

昭和五十二年より実施の父母懇談会は、早いもので今年すでに十一年目を迎えた。その間道内、外に設定された十五の地域会場において、定期的な実施を繰り返して、毎年多くの熱心な父母の方々の参加を得ている。



父母懇談会

父母懇談会の目的は、本学の教育目標、教育実践、学生の修学実情について説明することにある。また、学生に対する修学指導や学生の生活環境を父母の皆さんに具体的に伝えることによって、父母の立場からの深い理解を仰ぐためのものである。本年度



藤井義勝氏は、株式会社藤井ビル代表取締役として経済界において活躍され、豊富な経験と卓越した識見をもつて本学園の発展に寄与されました。

藤井義勝氏は、株式会社藤井ビル代表取締役として経済界において活躍され、豊富な経験と卓越した識見をもつて本学園の発展に寄与されました。

「北海道を考える」作家 倉本聰氏 札幌62・10・19

は網走会場、紋別会場(ともに六月十九日開催)、北見会場(六月二十日開催)の三つの地方会場と本学会場(十月

「みじかな健康」家庭・学校「職場」

教授 安藤統男氏 北見63・6・20

「暮らしとみじかな法律家」 教授 宇田一明氏 室蘭63・9・12

「生きている知恵」をテーマにした講演会。ソ連科学アカデミー極東支部国際関係部長のニコライ・G・ニェハイェンコ氏を招いて開かれた。

「生きている知恵」をテーマにした講演会。ソ連科学アカデミー極東支部国際関係部長のニコライ・G・ニェハイェンコ氏を招いて開かれた。

# 企業と大学との懇談会

札幌学院大学主催



東京で行われた企業と大学との懇談会

# '88就職戦線

## さあ、最後の追い込み！ 新規開拓企業も相つぐ

昭和六十三年度の就職戦線は最後の追い込みに入った。今年は旺盛な企業の人材意欲を映して、求人は過去最高の前年度を更に大きく上回り、内定報告も順調な伸びを見せている。

来春卒業者の就職戦線は終盤を迎え、最後の追い込みに入った。八月二十日(日)に説明会、九月五日(金)に説明会、十月十五日(日)に説明会、それぞれ開催されている。企業には変わりが無いものの、一部の大企業を除いて、企業への人材意欲は極めて旺盛で、採用活動のペースは極めて早く、例年にならぬ活発さだ。今年には景気回復の需要拡大前年度のいよいよ積み残し(採用予定を充足し出来なかつた分等々)に加え、丙午の年とあつて、当初から売り手市場になることが予想されていたが、いざ蓋を開けてみると、五月下旬の求人票発送前後から企業の強い求人票が相次ぎ、また学生側も対応する働き掛けが開始された。就職部では、三次後期から五回にわたる全体ガイダンスのほか、学部別・ゼミ別・体育会や各学生対象のガイダンス、YG検査、総合職業テスト、また各種職種の講師を招いての就職基礎講座、四年次生による体験報告会、四年次早々の志望調査・ゼミ担当職員と就職課職員による全学個人相談、公務員試験制度についての特別ガイダンス、公務員模擬試験、等々学生に対する指導、助言を強化してきた。

### 英国人の二万流

商学部教授 佐々木 洋

シャードの森で、弓や棍棒の果し合いに興じた後、ロビン・フッドとお尋ね者たちが、鹿のあぶり肉に舌鼓をうちながら、毎晩酌交したという、濃くて強いビールとはどんなビールか。子ども心に興味をそそられたことがある。殊のほか飲べない民族の多い欧州では、英国人は一人当たり酒消費量の五本の指に手が届かない。それでも、彼らのビール生活の觀察解なしには、英国社会の理解は無しと云えるほど、ビールはこの国の文化の本質的要素の一つだ。

甘いものを敬遠する傾向、つまり甘党・苦党といった二分法など、そのも存在しない。実際スウェーデンと比べると、英国成人のチョコレート消費量は欧州、だ。通勤ラッシュを過ぎた頃、勤務中の地下鉄のガー



に一人から内定報告があり、九月下旬も、十月末日六分と、伸びがやや鈍つてきているものの、前年より多量の上向き。内定企業のうち、目下新規開拓企業をあげると、北海道銀行、佐藤工業、三菱電機、和光証券、地崎工業、ニッカウチンキー、毎日新聞社、雪印種苗などがあつた。

### マサチューセッツ州の二大訪問

Bentley College  
Suffolk University

九月下旬、林常務理事と松田教務課長がアメリカのマサチューセッツ州を訪問した。マサチューセッツ州にあるマサチューセッツ州立大学の視察及びその予備調査が、この訪問の第一の目的であつた。

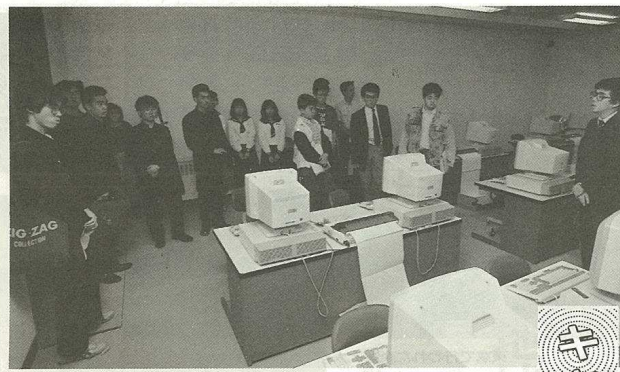
### 寄附者芳名

63.6.1~63.10.31 順不同敬称略

- 〔文庫会(同窓生関係)〕
  - ☆札幌文庫専門学苑
  - 近藤晃 渡辺武 松原良寿 本村義文
  - ☆札幌短期大学
  - 藤本実 大橋四朗 音藤二平 渡井勘三 阿部新雄 船山達郎 浦木明也 神野法彦 牛尾隆 出口秀喜 神浩 山田藤夫 白銀吾吉 齊藤彦太郎 見玉洋子 日登弘 平松治男 岡出元市 嶋田亨 松本一男 武田功 池田博 伊藤文夫 工藤秀勝
  - ☆札幌商科大学
  - 渡辺エリ 大越秀勝 石川与一
  - ☆札幌学院大学
  - 市川司 富樫一郎 畑山セミナールB一同
- 〔学園後援会〕
  - 細田信成
- 〔学生父母〕
  - 木村嵩 斎藤正 中島裕 福士初男 西田進 鎌倉繁次 山口敬司 白沢信行 松浦勇二 古川征支 小林勝男 長谷川朝 山田正彦 小野寺十朗 松原明 竹田昌子 佐藤孝 嶋津祐一 岡田武敏 倉町栄一 渡辺幸雄 宮本武司 可児常夫 小野謙一 中川清 早坂守正 桂英治 江畑浩 松本洋 若月利彦 千葉誠 小島良友 服部健一 重森定由 今野真良 伊井田静一 太田貴敏 菅原清吉 神本武 小嶋聡男 酒井助之丞 佐々木紀幸 佐藤武彦 菅原真 中川邦一 小野武臣
- 〔社会等法人〕
  - 正文舎印刷所 嶋松崎 山口才 北海道中央バス 札幌学院大学生生活同組合 北海道文化放送 札幌北海道建設新聞社 鶴ノッブルホム 大誠

したものである。訪ねた大学は、州都ボストン市より車で十五分程度のBentley Collegeとボストン市内で州庁舎の裏手にあるSuffolk Universityの二大学である。Bentley Collegeは文学士、理学士を取得できるプログラムをおきき数、五〇〇人学部三、八〇〇人大学院、七〇〇人で男女比は半の大学で、約四〇〇名から学生が学びに来てい

的であった。また本学学生を対象とした語学修得特別プログラムの実施も積極的に行



キャンパス見学会・入学相談会開催される

受験生「大学の内容よくわかった」

来年度の受験生を対象としたキャンパス見学会・入学相談会が去る九月十日・十一日の両日わたって本学で開催された。当日、見学会には二〇名の生徒、父母が参加...



インのヒーロー

昨年十月十四日、建学記念館の完成を記念して五千キロマソンが企画された。一月平均四十四キロ、一日も中断せず一年間走り抜けたランナー...

やったぞ！5,000キロ達成

本間 聡 君 365日走りつづける

ああ今日は走りたくないなあ、という気持ちになりまして、ひよっとしたら続けました。

本間君が初めてフルマソンに出たのは、入学し間もない昨年の夏。完走はしたが、途中歩いて、坐りこんだりして、五時間半もかかった。すでにゴールもとりわかれていた。しかし、五千キロを始めて約一年、今年九月に出発したフルマソンでは、三時間十二分のタイムで完走。

体育系クラブがんばる

課外活動の成果 体で男女アベック総合優勝を果たし、東日本の大会へ進出。個人部では団体予選、全日本大会へも出場。秋の新入選やインドア大会も大健闘し、来シーズンの活躍が大いに期待できる。



中国遠征に派遣された軟式庭球部員、日本学生代表のメンバーと共に

創立十五周年を迎える 今年創立十五周年を迎えた弓道部は昨秋、全道弓道争覇戦で史上初の四連覇を成し、春の諸大会も団体優勝を維持した。

軟式庭球部 全道に敵なし 春季リーグから全道大会、秋季リーグそして新人戦と大戦対抗戦においては総て優勝を挙げた。

陸上競技部 四〇〇M障害で北海道新記録 陸上部は各種大会で個人の成績がますます、三名が全三大会へ出場している。なかでもI部商学科四年の高橋智君は九月の南部忠平記念陸上大会で四〇〇M障害で北海道新記録をマークし優勝した。

私学助成の署名にご協力ありがとうございました 今年度私学助成運動の諸経費は、三二万円となり、署名活動はひとまず成功裡に終了致しました。署名は、一七・八大福祉政策が推進されている原則に立脚し、ご協力下さいました学生の負担軽減、学費値上げをしないこと、大層な公費助成の実現と教育・研究条件の改善のために今後ともご協力下さいますことをお願いする次第です。



語る津川雅彦氏

第18回 大学祭

秋も深まった十月八日、本学の祭りが開幕した。秋も深まった十月八日、本学の祭りが開幕した。

熱い夢とロマンの秋

アの研究発表が企画されてきた。なかでも脚光を浴びたのは俳優の津川雅彦氏を招いた講演会であった。地域の方々にも大変好評だった。よって、立席の出る会場で津川氏は幸福とロマンを語り続けた。学生諸君も存分に夢を語りあつたことと思う。

- 教員著作物 田中一著 『研究過程論』(北海道大学図書刊行会、一五〇〇円) 鈴木敬夫著 『法哲学序説(成文書、三〇〇〇円)』 中野徹三・八木橋賢・橋本剛・高田純・岩瀬充自著 『思想探検』(憲社、二五〇〇円) 高木清・丸山祐一編著 『経営管理の理論と歴史』(中央経済社、二九〇〇円)

春季リーグで準優勝 春の一部リーグに復帰し、今年春の北海道大学春季リーグを迎えた野球部は、初戦から好調で、リーグ準優勝を果たし、大健闘した。秋季リーグでは多少調子が崩れ、不本意な成績に終わったが来期はまた、春の勢いを再燃させて健闘してもらいたい。